



長男の成長とともに

衆院比例候補 中野たけし

いつもお世話になり、ありがとうございます。
私は、1月以降、衆院比例代表予定候補として東海4県を駆け巡っての活動を開始しています。

三重県以外で活動するのは初めての経験で、新しい体験の連続です。同時に我が家では、長男が4月からは小学校に入学します。

長男は、私が参院選挙区候補として活動していた、2010年6月8日の夜に生まれました。同日午後には、「生まれそうだ」と、妻が病院に向かうとの連絡がありましたが、私は夜に大紀町で集いがあったことから、そのまま集いに参加。つどい終了後、すぐに病院に駆け付け、出産に立ち

会ったことを鮮明に覚えています。夜11時半でした。

実は、そのとき、大紀町の集い会場から自宅まで送ってくれたのが、鈴鹿のSさんでした。公示直前で候補者が大変だろうと、運転手をして頂いていたのです。Sさんの運転のおかげで無事、出産に立ち会うことができました。その長男も大きくなり、今月からは小学生です。

各県を駆け巡る毎日ですが、子どもの大事な節目には、休みを頂き、子供の成長する姿を見ることが、私の活動の糧にもなっています。

比例は日本共産党

おかげさまで、武史が鈴鹿の皆様にお世話・ご支援いただき、活動させていただけるようになって、早くも今年で20年目を迎えます。本当にありがとうございます。

相変わらず、武史の「物怖じしないたち(性質)」は変わりません。

学生の頃には、小笠原で父島から南島まで、途中転覆するのものとわず、単独で力ヌーを漕いだり、一人山中でテントを張って一泊したり、今はたまに、休日の夕方、一杯酌みかわしながら、情勢の話をしたりする時も、考えを端的に話します。

こんな調子ですから、多分どのような集まり・会議でも、いわゆる「空気を読む」ことにはこだわらず、場の空気に圧倒されることもなく、時と場合によっては逆に「空気を破る、一新する」こともあるのではないかと思ったりもしています。

一方、「人の身になって、知り、調べ、考え、行動する」面も生活の中で垣間見られますので、ありがたく喜んでおります。

中野候補の父が語る息子像

このごろは三重・愛知・静岡・岐阜の東海4県を、ウソと偽りで成り立っている「虚構の安倍政権」、絶対得票率わずか17%で291議席の衆議院の「虚構の自民党議席」を打倒・打破すべく、共闘しつつ、独自に闘う、日本共産党の役割を果たす一人として走りまわっております。

(中野 敬二)

中野たけしを国会へ



楽しかった
「花見鍋」
4月1日
岸岡山公園



今の社会は待てない社会になっていると思う。仕事でもそう、早くに結果を求めるからその人が成長しているの
かも見ない。10年20年単位の長い目で
見て育成してほしい。(20代、男性)

批判できるほどの知識もありません
が、教育にかけるお金を削るのはやめ
ませんか。今の子どもたちが、日本の
未来を担うのですから。

(20代 養護教諭)



今の日本には安心感がない。正規で
働く人が減り非正規が増えている。こ
れからの若い人たちのことが本当に心
配。周辺の国とも、防衛費ばかり増や
してギョクシヤク対立するのでなく、仲
良くできる方向でもっと努力してほし
い。(男性)

病気をせず、これか
らも元気に生きていき
たい。年金をこれ以上
上げないで！(女性)

色々あるけど？えっと、安倍首
相に言いたい。外国ばかり行って
ないで国民の方に目を向けて！拉
致問題を解決に向けてもっと手を
打って！(女性)

2017 私は言いたい

「のびん」思ひいふ

郡山町 羽田徳子

森友学園が脚光を浴びてから、教育
勅語が大手をふって歩き始めたような
感じになってきました。

母は97歳で亡くなりましたが、晩
年、自分が呆けてないか確かめるのだ
と言って教育勅語を暗唱していました。
終わりで言えると、「まだ大丈夫ね」
と。

大正生まれの母が教育勅語を暗唱す
るのは当時の教育のたまものだと
も、これからの時代を生きる幼い子た
ちがこれを暗唱させられていたなんて。
戦後の1948年に排除、失効された
もので、戦後生まれの人は誰も(もち

ろん私も)知らない筈でした。

森友の籠池さんて80歳くらいだろう、
それにしても若く見えるなあ。と思っ
ていたら、私より若いのだった！そん
な若い(？)人が「一旦緩急あれば義
勇公に奉じ、以て天壤無窮の皇運を扶
翼すべし。」ですか？ 日本国憲法の
主権在民を習わなかったのかなあ。

私が習った頃は、先生が新憲法の理
念を熱く語ってくれました。母の教育
勅語と同じように、私は日本国憲法前
文を暗唱しました。政府の行為によっ
て戦争を起こさないこと。人々が平和
に生きるために国家が存在するのだ。
ということがきちんと書いてあります。
籠池さん、森友の先生達、もういち
ど日本国憲法を読んでくださいな。

社会にも早く

暖かい春が

上田町 田中美代子

寒さの中に、春の気配を感じる頃と
なり、草木が芽吹き心弾む春の訪れで
す。

それなのに、社会はなんと寒いこと
でしょう。豊洲移転問題や森友学園へ
の国有地格安売却問題など…どれをとっ
ても情けなく言いようのない怒りがこ
み上げてきます。

人間として一人ひとりがゆるぎない
精神を持って何事にも対応すべきであ

り、ましてや政治家たるもの、教育者
たるものがやることでしょうか！ニュー
スで流れる会見をみても、責任を
押しつけ合ったり、言い訳ばかりで
悲しくなります。しかし、まだまだ敵
冬期のような社会情勢の中でも、皆が
平等で善し悪しをはっきり伝え、正し
い方向に修正し導いてくれる心ある市
民・日本共産党は私の心を穏やかにし、
救ってくれます。

いつでもどこでもゆるぎない精神で
活動する共産党には、市民一丸となっ
てこれからも益々頑張ってもらい、社
会にも早く暖かい春が訪れてほしいも
のです。



写真提供
堀川東洋志さん



はしづめ圭一の

はじめの一步

寺家で懇談会をしました

共産党への期待の声も

3月25日(土)午後、寺家3丁目の伝統産業会館で日本共産党白子支部主催の「寺家地域住民懇談会」があり、10数名の方が参加いただきました。

「あなたの声を聞かせてください」というキャッチフレーズのチラシでお誘いしていますが、いきなり何かありませんか?聞いても話しぶらいでしょうから、議員になって1年11ヶ月の歩みを、ポイントをしばってお話しながら、ご意見を聞きました。

いちばん色々な意見がでたのは、津波防災です。昨年3月議会での私の質問で、自治会が行っている避難訓練にかけている傷害保険代を市が負担することになりました。このことにより各地の自治会の避難訓練を促すという狙いをもっています。もうひとつは災害時要援護者や高齢者の方も避難できるように、車椅子補助装置JINRIKIR(じんりき)の購入提案をして、市はす

ぐに3基購入し各地での避難訓練で試乗されています。

それは評価されましたが、やっぱり1キロ以上歩いての避難はつらい、近くに避難ビルがほしいという声が多いです。ある方が、「近くの空き地にドラッグストアが出来るらしい、その屋上を避難ビルに指定できないか?」という提案がありました。建物が出来てから要望するより、建てる前に屋上避難所を含めて設計してもらったほうが安くできるはず。自治会にお願いして要望書を出してもらおうことになりました。

終わりの方では、森友学園問題で盛り上がり、共産党への期待の声も出されました。ありがとうございました。

(鈴鹿市議会議員 橋詰圭一)

おとしの寺家地域住民懇談会では「白子小学校横の道路にヒビが入っていて危ない。あれは県道やで、市に言うてもあかんて言われるのやけど、何とかならんのか」との質問が出され、橋詰議員がさっそく現地調査。地元の自治会長さんに地図と写真を届け、市に要望してもらったところ、数日後に解決。あまりの早さに質問した人もびっくり。共産党の議員の行動力が光っています。

今回の懇談会では「ドラッグストアの屋上を津波避難所に」との要望がだされ、先日の自治会総会でも取り上げられました。(寺家 吉田)

言ってることが真逆だ
中村千代子

「日本って良いなあ」とメディアで宣伝されているが、本当にそういえるのか疑問に感じることがある。

戦争法の強行採決、秘密保護法の制定、盗聴法成立、共謀罪処罰法と4点セットで戦争する国へと舵を切ろうとしている。戦前回帰を目指すものと不安がぬぐいきれず。

安倍首相は憲法を蹂躪し、議会制民主主義を破壊し、平和・自由を忌諱(きき)し、反古にしているにも関わらず法の秩序・民主主義を口にする。言っていることが真逆ではないか。言葉をもてあそび言い換え詭弁に始終する。

現憲法を米国からの押しつけ憲法と攻撃するも本元の米国にすりより媚びを売り傘下に入る事いとわず執念を燃やす。国民を愚弄し、くらしと生命を軽視する安倍政権、それでも尚(高い)支持率を保っている。国民が確かな目を持たないと体制の思うままに流されてし まうのではと危惧するところだ。

(マスメディアも政権に取り込まれ、国民に真実を伝えようとせず、政権に都合の悪い情報を伝えず

隠蔽を計る。一強独裁体制の現政権の傲り、品位・品格も感じ

られないと思うのは私一人では

ないと思うが…)

2017
私は言いたい
(2面のつづき)



石田 秀三の

かけある記

「あたらしい憲法草案のはなし」

本屋さんに「あたらしい憲法草案のはなし」というタイトルの本が並んでいました。見たことがある本だなあと手に取ってみると、自民党の憲法改正草案(2012年)の解説本で、1947年に文部省が中学生向けに発行した「あたらしい憲法のはなし」とよく似た装丁です。発行者は「自民党の憲法改正草案を爆発的にひろめる有志連合(自爆連)」、「できるだけ草案をつくった人びとの気持ちによりそい、そこにこめられた理念や内容をつたえたい」「この草案を考えた人びとが、どれほど強い、熱い思いをもって、あたらしい憲法をつくろうとしているかが、きっとおわかりになるでしょう。」と書かれています。

本文を読んでもみると、なるほど分かりやすいし、面白い。いまの日本国憲法の何が良くないのか、どこを変えたいのか、自民党草案の作者の「頭の中」がよく分かります。その一部を紹介します。

◎憲法にもしゅうりが必要です。「70年もたてば、どんなりっぱな家でもこしょうがめだち、しゅうりが必要になります。憲法もおなじです。」

◎いまの憲法には「日本らしさ」が欠けています。「日本国憲法の前文には、日本がどんな国かするし

た文章がありません」「このようなゆがんだすがたをなおし、日本の文化と伝統をふまえた日本らしい憲法にする」

◎憲法の三原則が変わります。「国民主権、戦争放棄、基本的人権の尊重」→「国民主権の縮小、戦争放棄の放棄、基本的人権の制限」

◎あくまで「国」があつての「国民」です。「あたらしい国民主権の考え方は、『主役は国で、国民は国の一部分である』というものです。」

◎個人より家族を大切にしてもらいます。「この条文ができると、家族全員のことを考えなくてはいけなくなります。好きだからといって、親が反対する相手と結婚していいのか、子どもを保育園にあずけて、母親がつとめに出ていいのか、親を施設に入れて、介護を他人まかせにしているのか、愛がさめたからといって、離婚していいのか、国民はよくかんがえなくてはいけなくなるでしょう。」



こんなふうな、今の憲法のここを変えよう、という中身が列挙されています。私たちが「憲法を守る」「改憲を許さない」と言うとき、「こう変えてもいいんじゃない？」という意見と噛み合った議論をすることが必要になります。相手との対立、平行線の議論ではなく、対話と理解の議論にするためにも、この本をテキストに自分の頭を整理することが求められるのでは、と思いました。

(鈴鹿市議会議員 石田秀三)

私のおすすめ 簡単レシピ

春ごぼうのスープ

野崎洋子

材料(4人分)

- ・鶏もも肉 1枚
- ・ごぼう 1. 5本
- ・人参 中1. 5本
- ・固形コンソメ 2個
- ・塩、コシヨウ 少々



作り方

- ① 鶏もも肉を8等分します。
- ② ごぼうは洗って5cmの長さに切り、太いところは半割にします。切ったごぼうは

10分ほど水にさらします。

③ 人参も5cmの長さに切り、縦に4等分します。

(ごぼうと大きさをそろえます)

④ 鍋に水7カップ・もも肉・固形スープ・さらしたごぼうを入れ、10分ほど煮ます。

⑤ ごぼうが少し柔らかくなったところへ人参を入れて煮ます。アクと油を丁寧に取り、味を整えて出来上がりです。

*わが家の味は薄めですので、お好みで塩・コシヨウをお使いください。

介護の心ここにあり！！

先日1月に他界されたOさんのお焼香に、遅ればせながら知人と出かけました。

とても楽天的だった？と思われるOさん。その方が脳梗塞を患って20年自宅介護を頑張った奥様のお話に、感激しました。

「大変だったでしょう？」とよく言われるけれどそんなに大変ではなかったと。特に自分でできる間は自分で介護して、できなくなったら施設に預けると決めていたので、どうしようもなくなった時のことに心を奪われることはなかった。20年間で振り返ると「認知症が悪化して徘徊をし始めたところが一番大変だった。これからもっと大変になるのかとお先真っ暗な人生を嘆きそうになった。でもそんなことにはならなかった。」

認知症の人は何もかもがわからなくなるのではなく、基本的な生活の部分では理解をできて



森川ヤスエの

ここに夢を

いるので、プライドを傷つけないように気をつけてあげると、普通に日常が流れた。たとえばここで頑張ってくれないと私が困るといって自分の体を支えるように力を入れてくれるなど。どうなるんだろうと心配をしているこれからの方にそのことを伝えたいと。

大変と思っていたときが一番ピークの時だということ。そして社会的サービスを利用すること。何か急変があったら駆けつけてくれて、いろいろ支えてくださった訪問看護はとても心強かったと。



(鈴鹿市議会議員 森川ヤスエ)

随想

大臣を辞職すると公言して

大阪の小学校建設予定地に廃棄処分のごみが埋設している土壌のためなのか？時価九億円もする土地を一億円で棒引きにして売却される価格に森友学園の籠池理事長本人もびっくり、世間もびっくり。開いた口が塞がらない。あまりにも世間の常識からかけ離れた価格破壊の値段の裏にきな臭い臭いを感じた替のすずめは、あれやこれやピーチクパーチクと盛んにさえずり、連日どこのテレビのチャンネルも茶の間を賑やかにしている。と同時に突然降ってわいたような不正の数々に我が耳を疑うと同時に老眼を釘付けにされる。専門家やジャーナリストによって、さらに井戸を深く掘削を進めていくとどろどろとした水が岩盤を突き破って溢れ出し、安倍首相や昭恵夫人にまで降りかかります。それを拭きしようとしても決して澄み切った真水とはなりません。首相は予算委員会の場で見得を切り、その問題に夫婦が関わっているのあれば総理大臣を辞職すると公言して

いつものポーズで見得を切る

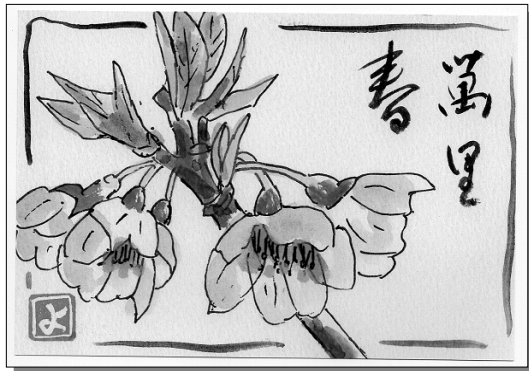
深谷 孝夫

決して軽々しくはないはず。国民の前で千両役者が堂々と自信たっぷり見得を切った発言をしているのだから…

しかし、一見たのもしく真実らしく語っているような印象を持ちますが、それはいつものポーズで国民をたぶらかす詭弁に過ぎません。たとえば、大企業や投資家が儲ければ、その滴で国民のくらしがよくなるというアベノミクスのコンセプトに惑わされ支持を伸ばしたが、現実には果たしてどうなのか？かえって格差は拡大し、非正規労働者が増えて、くらしが良くなったという実感に乏しいのが社会の実相ではないかと思えます。

つまり、もうすでに三本の矢は折れ尽きて、アベノミクスが打ち上げた熱気球は、破裂し炎上したのも同然なのです。大企業や投資家のふところを膨らます政策に拘っていたのではいつまでたっても国民のふところは、安心できません。結局は、そのことが原因で若者世代がなかなか結婚に踏み切れずにいるのではないのでしょうか。





投稿コーナー

絵手紙 宮崎ヨシ子さん

写真 堀川東洋志さん

私のふるさと

第8回

私のふるすとは長野県北信濃にある木島平村です。有名な野沢温泉村の隣です。

温泉と四季の自然、冬はスキーと観光の村です。馬曲（まぐせ）温泉は標高900mの山の中にあり、野天風呂から眼下にスキー場を眺め、目の前の山は四季折々姿をかえてくれるので圧巻です。村のあちこちから妙高山、斑尾（まだらお）山、黒姫山などの山々が見えるところで育ちました。山菜も一年中豊富なので、里帰りをすると、妹の居酒屋で料理をしてもらって食べる郷土料理は最高です。

私は今から53年前、15歳の時、集団就

職で四日市の紡績工場に来ました。当時は兄弟姉妹が多く（8人）高校で学ぶお金もなく、夢を実現させるために紡績で働き、四日市高校の通信制課程で学びました。両親への仕送りも当たり前でしたが、貧しい中でも人情のある環境が大好きでした。

先日、後援会「新春のつどい」で参議院議員の武田良介さんに会って、ふるさとの話をしました。「今の私を育ててくれた原点はふるさとの同志なんですヨ」と言うと、隣の中野市出身の武田さんは同志の名前に「えエ〜!!」と喜び合いました。春です。ここみ、こしあぶら、わらび、ぜんまいなどの山菜採りに里帰りでーす。

（自由が丘 足立房江）

編集後記

今年は何年になく桜の開花が遅れていましたが、ようやく春本番。お花見の計画をたてている人も多いことでしょう。友人が集まってワイワイガヤガヤ、楽しいひとときです。▼ところがお花見の席での会話が処罰の対象になるとしたら。「まさか」と思うかもしれませんが、4月6日から審議入りした「共謀罪」法案が成立したらその「まさか」が現実になるかもしれない恐ろしい法案です。▼共謀罪は実際には犯罪が起きていないのに2人以上で「話し合い、計画」しただけで処罰に問える法律です。その「話し合い」が犯罪かどうか決めるのは警察であり、「話し合い」を摘発するため監視をつよめるでしょう。これまで政府は3回も国会に法案を提出しましたが、国民の強い反対で廃案になりました。▼今回、政府は共謀罪を「テロ等準備罪」と名称を変えましたが、その中身は私たちの思想・信条や言論・表現の自由をおびやかすところのない法案です。国民の大きな世論と運動で共謀罪に反対していきましょう。

（た）